

令和 7 年 金沢市教育委員会第 9 回定例会 会議録

1 日 時 令和 7 年 9 月 1 8 日 (木)

開会 1 3 時 3 0 分

閉会 1 4 時 0 5 分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2 階 2 2 0 1 会議室

3 出席委員 (4 名)

教 育 長 野 口 弘

教 育 委 員 大 島 淳 光

〃 長 澤 裕 子

〃 櫻 吉 啓 介

4 欠席委員 (3 名)

教 育 委 員 田 邊 俊 治

〃 丸 山 章 子

〃 木 村 陽 子

事務局	教育次長	堀 場 喜一郎
	担当次長 (兼) 教育総務課長	前 多 洋 一
	教育総務課長補佐	内 山 善 之
	担当次長 (兼) 学校職員課長	中 田 知 邦
	学校職員課担当課長・管理主事 (兼) 課長補佐	中 田 義 成
	担当次長 (部活動地域移行担当) (兼) 学校指導課長	貞 廣 賢 了
	学校指導課担当課長 (兼) 課長補佐	藤 田 亮 治
	市立工業高校事務局長	今 井 信 也
	生涯学習課長 (部活動地域移行担当)	小 川 晶 子
	図書館総務課長 (兼) 玉川図書館長	岩 崎 友 代
	教育プラザ総括施設長	熊 谷 有 紀子
	(兼) 学校教育センター所長	
	(兼) 特別支援教育サポートセンター所長	

5 案 件

非 報告第 1 5 号 令和 7 年度金沢市教員採用候補者選考試験の結果について

(学校職員課)

報告第 1 6 号 令和 7 年度金沢市実習助手採用候補者選考試験の申込状況について

(学校職員課)

報告第 1 7 号 令和 7 年度全国学力・学習状況調査及び石川県基礎学力調査の結果について

(学校指導課)

そ の 他

(1) 令和 7 年度金沢市立小・中学校卒業式日程について

(2) 金沢市立工業高等学校の活動状況について (令和 7 年 4 月～8 月)

(3) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議挨拶に続いて、傍聴希望者3名について協議し、傍聴を許可した。次に、会議録署名委員に櫻吉委員を指名した。本日の議題について、野口教育長が報告第15号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入る前に、熊谷総括施設長が海外教育派遣研修の内容変更について報告した。

審議に入り、報告第16号、報告第17号、その他(1)(2)について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、10月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に報告第15号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

＊ 10月の定例会議の日程：令和7年10月15日（水）13：30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 大連への海外教育派遣研修の内容変更について（学校教育センター）

（説明の概要）前回、本委員会で報告した海外教育派遣研修について、大連市人民政府外事弁公室より実施日程を9月から10月以降に変更してほしいと申し出があった。そのため、11月上旬の実施に向け現在調整中である。また、日程変更に伴い、団長の野口教育長はご公務のため、代わりに堀場教育次長が団長を務める。

（特になし）

○ 報告第16号 令和7年度金沢市実習助手採用候補者選考試験の申込状況について（学校職員課）

（説明の概要）議案書4ページ。令和7年度は工業で若干名の採用を予定しており、申込者数は10名となっている。

選考試験は9月27日に市立工業高等学校にて行う。試験科目は教養試験（一般・工業）、作文、適性検査、個人面接である。最終可否は10月下旬に受験者全員に郵送で通知する。

大島委員	私ども民間は今、採用が非常に厳しく、人材の取り合いのような状況になっているのですが、実習助手の採用で申込者数10名に対して若干名の採用というのは、例年、大体このような倍率なののでしょうか。それともやはり厳しい状況にあるのでしょうか。
中田学校職員課長	市立工業高等学校におきましては、平成20年度に本市の独自採用候補者試験が始まりまして、実習助手の採用候補者試験については今年度が初めての実施となっております。従いまして、過去の倍率はございません。
櫻吉委員	実習助手というのは、何か資格などが必要な職種なののでしょうか。
中田学校職員課長	特に教員免許状のような資格はございませんが、実習や実習授業において教諭をサポートできる力、設備・備品管理を教諭と共に行う力が必要となります。教諭のように単独で授業を行うことはできないなど、いろいろな規制はありますが、そのような力があるか判断し採用していきたいと思っています。

長澤委員	実習助手が教員になるというような道はあるのでしょうか。
中田学校職員課長	教員になるためには、教員の資格を取らなければいけません。実習助手については教員免許状の取得が必要ないので、もし教員になりたい場合は教員免許状を取得する必要があります。
野口教育長	これまで市立工業高等学校の教員採用試験のときには、学科ごとに採用試験を経て合格者が出ていたと思うのですが、実習助手の方々は学科のくくりはないのですか。また、もしくくりがないとすれば、5つの学科にまたがって様々な学科のお仕事をされるのか、それとも専門的にどこか特定の学科のお仕事をされるのか、お伺いしてよろしいですか。
中田学校職員課長	大きく工業というくくりになっております。市立工業高等学校には五つの科がありますが、現時点で、機械科に入るとか、電気科に入ることについて申し上げることはできません。ただ、学校の中の適切な場所に入って決められた実習をサポートする立場の人になりますので、くくりは特にないのですが、学校に入ってからしっかりと適切な場所を考えることになります。
野口教育長	様々な学科で仕事をされるという理解でよろしいですね。
中田学校職員課長	はい。

○ 報告第17号 令和7年度全国学力・学習状況調査及び石川県基礎学力調査の結果について（学校指導課）

（説明の概要）議案書6ページ。全国学力・学習状況調査は、小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象に4月17日に行われた。

教科に関する調査は、国語、算数・数学、理科で実施された。なお、中学校理科については1人1台端末を使用し、IRTを用いたオンライン方式で4月14～17日のうち、あらかじめ指定された日に分散して行われた。IRTとは項目反応理論と呼ばれる理論で、生徒の正答・誤答が難易度等の問題の特性によるのか、生徒の学力によるのかを区別して分析し、生徒の学力スコアを推定する統計理論である。これを導入することで、調査日の複数設定が可能になり、今まで以上に多くの問題を使用して幅広い領域・内容での調査も可能になるといわれている。

各教科の平均正答率は、中学校理科を除いて、小・中学校の全ての実施教科において全国を3～8ポイント上回る結果となっている。中学校理科については、500を基準としたIRTスコアで公表されており、全国との比較では35スコア上回る結果となっている。また、石川県との比較では、小学校の国語は同程度、算数と理科は1ポイント上回る結果であり、中学校の国語では1ポイント、数学では2ポイント、理科では8スコア上回る結果であり、おおむね良好な状況と捉えている。

質問調査の結果概要は、児童生徒質問の中から、令和7年度より始まった新金沢型学校教育モデルに関連する金沢探究スタイルに関連する質問、デジタル力の育成に関連する質問、読解力の育成に関連する質問、コミュニケーション力の育成に関連する質問について抜粋したものを示している。

金沢探究スタイルに関連する質問について、番号32の「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」の質問では、全国と比較すると上回っている状況が見られる。また、肯定的な回答の割合が8割を超えており、児童生徒が授業で課題を自分事として捉え、自ら考えながら学習活動に取り組んでいる状況を見て取ることができる。今後も探究的な学びの実現に向けて、児童生徒が自ら問い、自ら行うことができるよう、教師の支援を意識し、さらなる授業改善を推進していきたい。

デジタル力の育成に関連する質問については、多くの質問で全国と比較すると上回っている状況が見られ、児童生徒が1人1台端末の有用性を感じながら学習活動に活用できている状況が見て取れる。

読解力の育成に関連する質問については、番号の小学校51、中学校50の「目的に応じて説明的な文章を読み、必要な情報を見付けている」の質問や、その他関連する質問で、全国と比較すると上回っている状況が見られる。ただ、読書時間や新聞を読む頻度については、全国よりは上回っているものの、まだまだ課題があると捉えている。

コミュニケーション力の育成に関連する質問については、授業や学級で話し合いに関する多くの質問で、全国と比較すると上回っている状況が見られる。特に番号29-4の「ICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる」の質問では、小・中学校ともに全国を大きく上回る状況が見られる。今後、児童生徒がプレゼンの準備をする際には、スライドを作成することだけに力を注ぐのではなく、資料を活用し、どのように話を組み立てれば相手が分かりやすくなるかを考える時間を取るなど、互いに相互評価する場を設けるなどして、児童生徒が自分の考えをうまく表現したり、互いを認め合いながら対話したりすることができるよう、教師の授業改善を進めていきたい。

なお、その他の各教科に関する質問や、基本的生活習慣に関すること、規範意識に関することなどの詳しい質問調査の結果については、例年どおり、冊子が完成次第、委員の皆さまにお届けしたい。

続いて、石川県基礎学力調査は、小学校第4学年・第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象に4月16日に行われた。

各教科の平均正答率は抽出学級の数字となる。各教科の平均正答率は、石川県と比較して、小学校4年の国語は同程度、小学校4年の算数と小学校6年の社会は1ポイント下回り、小学校6年の英語は同程度であった。また、中学校3年の社会は2ポイント上回り、中学校3年の英語は1ポイント上回る結果であり、おおむね良好な状況と捉えている。

これらの調査結果を生かし、2学期以降、重点的に行う取り組みを具体化するなど、各学校の実情に即した改善策を立てそれらを実践するよう、学校訪問等を通じて学校に対して指導、助言を行っていきたい。

長澤委員

デジタル力の育成に関連する質問事項で、大変良い傾向が見られる部分が多いことが印象的です。日々の授業で先生方が意識的にICT機器を活用して授業をされていることが、こういう形で子どもたちに定着してきているのだなと感じています。

今後は、学校指導課長からご説明がありましたように、このようなデジタル力の素地を持ちつつ、自分で考えをまとめ、それを生徒間で意見交換し合い、より学習を深めていくという、まさに金沢探究スタイルに関連するところでまた研鑽を積んでいってもらえたらと思いますし、自分で考え、それを相手に伝え、コミュニケーションするという経験が、結果的に自己肯定感を上げていくことになると思いますので、課題として挙がっている5番の「自分には、よいところがある」についても、全国と同等レベルではなく、より高いポイントが得られるようになっていくのではないかと期待しています。

貞廣学校指導課長

長澤委員が言われたとおり、日頃から教員が現場で授業改善等に取り組んでいる結果と、もう一つは、やはり子どもたちもしっかりと頑張っていたことが今回の結果に表れているように思います。ただ、先ほども言いましたように、肯定的な回答の割合は高いのですが、その一方で、否定とは言いませんが、肯定的な回答の1+2の割合に含まれない、3、4のところはまだ2、3割の子どもたちがいますので、そういうところも見逃すことなく、個に応じた指導等をしっかりと行っていき、自ら問い、自ら行う

	新金沢型学校教育モデルの探究的な学びを充実させていきたいと考えています。
櫻吉委員	理科の I R T スコアについて、試験を受ける日が複数日とおっしゃいましたが、ということは、受ける問題が違うけれども点数化されるのですか。それとも、タブレットを使用するので、子どもによって問題が既に違うということですか。
貞廣学校指導課長	おっしゃるとおり、共通の問題もあるのですけれども、違う問題も含まれています。
櫻吉委員	それは、例えば正答率が上がってくると問題がもっと難しいものになるとか、そういうことなのですか。
貞廣学校指導課長	おっしゃるとおり、項目反応理論ですので、問題の難易度などもそれぞれ違ってきます。
櫻吉委員	当日受ける子どもによって問題が既に違うという理解でいいですか。
貞廣学校指導課長	共通の問題もあるのですけれども、1 番と 2 番は共通であって 3 番と 4 番は違うということもあります。
櫻吉委員	今後、他の教科もそういう流れになっていくのでしょうか。
貞廣学校指導課長	C B T 化をこれから全国学力・学習状況調査で進めていくのですけれども、今年度は中学校理科で入りました。来年度は英語で入ります。そして 2027 年度からは全ての教科を C B T 化していく方向で動いています。そうすると、オンラインで実施するときに操作等のこともありますので、今、国からは項目反応理論（I R T）を使っていく方向で動いているとは聞いておりますが、実際にこれがどうなっていくかまでははっきりとは分かりません。ただ、とにかく今回、理科で行ったことが次につながっていくのではないかと捉えています。
櫻吉委員	先ほど「新聞を読んでいますか」という項目の点数が低いというお話がありましたが、最近はそもそも新聞を購読していないご家庭も増えていると思うのです。子どもたちに本当に新聞を読んでもほしいという思いがあるのであれば、例えば学校で新聞を読む機会をつくるなどしないと、物理的に読めない子も結構いるのではないかと思うのですが、どうでしょうか。
貞廣学校指導課長	学校の方では、概ね 3 紙の新聞を取り、子どもたちが自由に読めるように図書館や職員室の前に置くなどしています。また、この質問項目の新聞は、紙ではなく電子版も含んでおります。金沢市の学校では電子版も取っていますので、朝読書の時間で新聞を読む機会を設けたり、新聞を読んで自分の感想をまとめるという学習等に取り組んでいる学校もあります。
櫻吉委員	そうすると、例えば朝学習で毎日読むという子がほぼ 100% になってしまう気がするのですけれども。
貞廣学校指導課長	毎日の朝学習で新聞を読むのではなく、金曜日など、曜日を決めて読んでいることもありますので、週に 1 回読むという回答をしているお子さんもいるのだと思います。
櫻吉委員	必ず触れる機会はあるということですね。

○ その他（１） 令和７年度金沢市立小・中学校卒業式日程について（学校指導課）

（説明の概要）議案書１１ページ。卒業式の日程設定に当たっては、例年、中学校は公立高校入試後に授業日を２日間確保することを基本として日を決定している。また、小学校は中学校卒業式実施後に２日連続で実施することを基本として日を決定している。この考え方に基づき、令和７年度、中学校については、公立高校の入試日が３月１０日（火）・１１日（水）に決定していることから、入試後の２日間を確保し、３月１４日（土）午前に設定した。これに伴い、小学校の卒業式は３月１６日（月）・１７日（火）の午前と午後に設定した。

教育委員の皆さまには臨席願ひ等をお送りするので、ご協力をお願いします。

（特になし）

○ その他（２） 金沢市立工業高等学校の活動状況について（令和７年４月～８月）（市立工業高校事務局）

（説明の概要）議案書１３ページ。一つ目は、全国工業高等学校校長会が夏休みに開催する高校生ものづくりコンテストの結果である。石川県予選会においては、市立工業高校から五つの部門に参加し、全ての学科が北信越大会に出場する初の快挙を成し遂げた。中でも建築科の木材加工部門、並びに電気科の電気工事部門においては、北信越大会で優勝し、それぞれ全国大会へ出場することとなった。電気工事部門において石川県内の高校生が優勝するのは初めてである。

二つ目は、資格取得状況である。８月までに延べ４９６名がさまざまな資格を取得している。この中には、全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度において高得点を収め、ゴールドと認定された生徒が６名、シルバーと認定された生徒が７名いる。

三つ目は、部活動・課題研究の結果である。資料には、県大会や北信越大会でおおむね上位３位以上の成績と全国大会の結果を記載している。文化部では、７月の石川県吹奏楽コンクールで吹奏楽部が銀賞を受賞したほか、全国高校生花いけバトル上信越大会２０２５において生け花部が優勝を果たした。また、８月の石川県高等学校ロボット競技大会において優勝し、全国大会への出場を決めた。運動部では、５月の全日本相撲個人体重別選手権大会においてジュニア男子重量級で準優勝した生徒が、先日、タイ・バンコクで開催された世界相撲選手権大会の日本代表として選出され、チームの優勝に大きく貢献した。８月の全国高校相撲十和田大会においても団体優勝したほか、高校総体においては相撲、水球、弓道、バドミントン、新体操の各部が全国大会への出場を果たした。

四つ目は、先般実施した中学生体験入学についてである。金沢市を中心として５２の中学校から計４０５名の中学生が参加し、ロボット操作や小屋づくり、測量機器による宝探しなど、各科の特徴を生かした取り組みを全ての参加者が体験した。アンケート結果によれば、「体験入学に参加して良かった」という回答が９割以上にのぼっている。なお、体験入学とは別に、９月２３日に学校説明会と部活動体験を開催する予定である。

五つ目は、９月以降の主な活動予定である。９月１６日からは民間企業の就職試験が開始されている。１０月以降は、本校の文化祭である金工祭や吹奏楽部定期演奏会などを開催する予定である。生徒がさまざまな場面で活躍できるよう学校を挙げて取り組んでいるので、引き続きご支援のほどよろしくをお願いします。

長澤委員

中学生の体験入学について教えてください。参加人数が４０５名ということですが、１学年は何人いらっしゃるのでしょうか。また、保護者が３６名出席になっていますが、こういった方々が保護者として参加されているのでしょうか。

今井市工高事務局
長

まず本校の1学年の人数ですが、土木や建築など五つの科、6クラスで編成され、定員は1クラス40名のため、1学年240名となります。今回の体験入学に参加された保護者についての、細かな統計は取っていないのですが、拝見したところ、母親と一緒に来られている姿が多く見られました。また、小さな弟さんや妹さんを連れて参加されている姿も多く見受けられたと記憶しています。

長澤委員

かなり意識的に体験入学をされているのだなということが人数を聞いて分かりました。ありがとうございました。

今井市工高事務局
長

委員の仰せのとおり、体験入学に参加された生徒がその後、本校に入学するケースが多く、参加された皆さんがしっかりと目的意識を持っており、体験入学を通して本校での取り組みや授業を見たうえでご判断いただいたものと思っております。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名 _____

教 育 委 員 _____ 署 名 _____

(櫻吉委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 報告第15号 令和7年度金沢市教員採用候補者選考試験の結果について（学校職員課）

審議結果についても非公開

以 上